

鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

鍼灸総合演習Ⅰ

臨床医学総論 テキスト

学籍番号：_____

氏名：_____

1. 診察

1-① 問診 (医療面接)

主訴 患者が医療機関を訪れる直接の動機。

現病歴 患者の訴える症状が「いつから」「どのように」「どのような経過で」を記録したもの。
() の歴史)

既往歴 出生してから現在に至るまでの患者の健康状態、罹患した疾患についての記録。
「出生状況」「幼児期の健康状態」「ツベルクリン反応」「BCG 接種の有無」
「予防接種」「輸血の有無」に加え、「既往の疾患」聴取する。
さらに「月経」「妊娠」「流産」や煙草などの「嗜好品」「常用薬」も含む。
() の歴史)

家族歴 祖父母、両親、同胞、配偶者、子供などを中心に、その健康状態・罹患した疾患・死因などを記載する。遺伝的なものを調べる為に聴取する。

家族内で発症しやすい疾患

血友病 (伴性劣性遺伝病)、高血圧症、糖尿病、脳血管障害、造血器疾患
アレルギー疾患、精神神経疾患、内分泌疾患、悪性腫瘍など

社会歴 年齢・性別・生活環境や職業などを記録する。

医療面接を行う際の注意事項

- ① 医療行為は、**患者と医療従事者の間の信頼関係の上に成り立っている**。言葉遣いや身なり、態度に配慮する。
- ② 問診は、系統立てて行い、診療録には要点を整理して記載する。
- ③ 患者は、重大な症状を申告しなかったり、些細な症状を大袈裟に表現したりする。ある症状が見られないといった陰性所見が診断に有用であることもあるので、患者の訴えを的確に判断する必要がある。
- ④ ただし、最初から特定の疾患を推定し、その疾患に都合の良いような問診を行ってはいけない。客観性が重要である。
- ⑤ 患者以外 (家族など) から症状を問診する場合は、必ずしも正確ではないこともある。
- ⑥ 問診で得られた内容は、患者の人権にかかわることが多く、関係者以外には内容が漏れないようにする。
⇒ () 義務という。違反すると () 万円以下の罰金 (親告罪)

鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト
問診（医療面接） 練習問題

例題) 次のうち、誤っている組み合わせはどれか。

- 1 既往歴 — 予防接種
- 2 社会歴 — 仕事内容
- 3 現病歴 — 出生してから現在に至るまでの病歴
- 4 主訴 — 来院する直接の動機

例題) 次のうち、誤っている組み合わせはどれか。

- 1 現病歴 — 出生してから現在までの罹患した病気
- 2 家族歴 — 遺伝的な事を知る為に聞く。
- 3 社会歴 — 仕事環境が疾病に関与している場合に役立つ。
- 4 既往歴 — 質問事項には、予防接種や輸血の有無を含む。

例題) 問診について正しい記述はどれか。

- 1 信頼関係が重要である。
- 2 最初から特定の疾患を推定して行う。
- 3 訴えは医学専門用語で記載する。
- 4 患者の職場の上司には問診の内容を話す。

例題) 問診（医療面接）を行なう際の注意として適切でない記述はどれか。

- 1 温かみのある態度で接し、患者との信頼関係を築く。
- 2 ある症状がみられないといった陰性症状は重要である。
- 3 特定の疾患を想定し、それに沿って行う。
- 4 患者の個人情報が出ないようにする。

1-② 視診

A 発疹

よく見られる発疹には以下のものがある。

原発疹 ⇒ それまで健康であった皮膚に生じるもの

- ① 紅 斑：皮膚が限局性に発赤したもの。皮膚は隆起しない。
- ② 紫 斑：皮膚組織内の出血（内出血）によるもの。
最初は赤色 → 紫色 → 青色 → 黄色 → 消失 で変化する。
- ③ 丘 疹：皮膚から半球状、扁平に隆起した病変。5 mm以下のもの。
- ④ 結 節：えんどう豆以上の皮膚の隆起をいう。
- ⑤ 膿 疱：膿液が溜まり、混濁した水疱が黄色く見える。
- ⑥ 蕁麻疹：真皮上層の浮腫により、限局性にかつ境界鮮明に皮膚の隆起した状態。

①



②



③



④



⑤



⑥



続発疹 ⇒ 発疹が変化し、引っかいたり感染が加わるなど、続発して起こるもの

- ⑦ びらん：皮膚の欠損のうち浅いもの。膿疱などが破れたあとに出現。
- ⑧ 潰 瘍：深くて、治癒した後に瘢痕を残すもの。（重度のびらん）
- ⑨ 痂 皮：かさぶたの事。
- ⑩ 瘢 痕：創傷が結合組織によって修復された状態。ケロイドともいう。
- ⑪ 鱗 屑：表皮角層上層が角質片となって剥脱したもの。乾癬などで生じる。

⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



その他 特異的な発疹・皮疹

- ⑫ 蝶形紅斑：() の患者にみられる。
 ⑬ 結節性紅斑：(結節性多発性動脈炎・) 病) の患者にみられる。
 ⑭ 手掌紅斑：() の患者にみられる。
 ⑮ ヘリオトロープ疹：() の患者にみられる。上眼瞼の浮腫を伴う。
 ⑯ ディスコイド疹：() の患者にみられる。

⑫



⑬



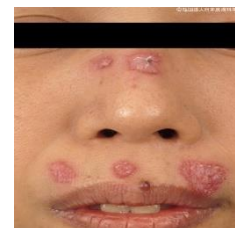
⑭



⑮



⑯



発疹 練習問題

例題) 続発性発疹はどれか。

- 1 結節
- 2 膿疱
- 3 瘢痕
- 4 紫斑

例題) 膠原病とその特徴について正しい組み合わせはどれか。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 SLE | ー 手掌紅斑 |
| 2 ベーチェット病 | ー 陰部有痛性潰瘍 |
| 3 リウマチ | ー ヘバーデン結節 |
| 4 強皮症 | ー ヘリオトロープ疹 |

例題) 原発性発疹はどれか

- 1 蕁麻疹
- 2 鱗屑
- 3 びらん
- 4 潰瘍

例題) 蝶形紅斑とディスコイド疹の見られる患者はどの病態か。

- 1 全身性エリテマトーデス
- 2 強皮症
- 3 ベーチェット病
- 4 関節リウマチ

B 浮腫

- ① 心臓性浮腫：心不全などでみられる。呼吸困難、静脈怒張、チアノーゼなどを伴う。
重力の影響から（ ）部に多く発生する。高度になると全身に出現。
- ② 腎性浮腫：腎炎、（ ）症候群でみられる。（ ）時は高度浮腫となる。
蛋白尿・血尿などの尿所見や高血圧症を伴う。
- ③ 肝性浮腫：肝硬変などの重症例でみられる。肝臓腫大や、門脈圧亢進により、腹水や
腹壁静脈怒張（ ）の頭）などがみられる。
- ④ 栄養性浮腫：長期間にわたる不適切な食事や、悪性腫瘍末期などの（ ）で
みられる。低蛋白血症を伴う。
- ⑤ その他：内分泌疾患（甲状腺、下垂体、副腎の異常）、高度貧血で浮腫が発生する。

（ネフローゼ症候群など）浸透圧が原因による浮腫のメカニズム【解説 メモ！】

鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

浮腫 練習問題

例題) 浮腫とその特徴について正しい組み合わせはどれか。

- 1 心臓性浮腫 — 下肢に発生しやすい
- 2 腎性浮腫 — 腹水・腹壁静脈怒張
- 3 肝性浮腫 — 上眼瞼の浮腫
- 4 栄養性浮腫 — チアノーゼを伴う

例題) 浮腫と原因との組合せで正しいのはどれか。

- 1 粘液水腫——腎機能低下
- 2 肝性浮腫——低タンパク血症
- 3 腎性浮腫——副腎機能低下
- 4 心性浮腫——静脈圧低下

例題) 浮腫の原因でないのはどれか。

- 1 静脈圧の上昇
- 2 血漿浸透圧の低下
- 3 腎のナトリウム再吸収の増加
- 4 バゾプレッシンの分泌低下

例題) 浮腫の原因となる病態はどれか。

- 1 低タンパク血症
- 2 低カリウム血症
- 3 高脂血症
- 4 高尿酸血症

例題) 低タンパク血症を特徴とする疾患はどれか。

- 1 クインケ浮腫
- 2 うっ血性心不全
- 3 ネフローゼ症候群
- 4 慢性糸球体腎炎

例題) 浮腫について誤っている組合せはどれか。

- 1 心臓性浮腫——朝方に増強
- 2 腎性浮腫——顔面から出現
- 3 肝性浮腫——腹水を伴う
- 4 栄養性浮腫——全身に出現

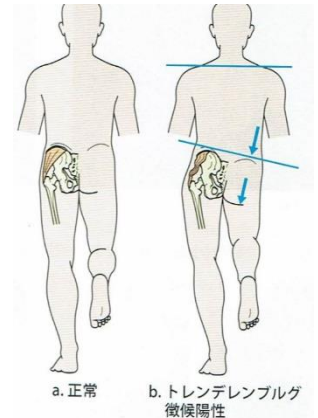
C 歩行

△疼痛性跛行：下肢に疼痛がある際、罹患側の下肢の接地時間を短くし健側下肢を素早く前に出し歩行する。

★間歇性跛行：下肢の動脈硬化症（ ）や（ ）症）がある患者では、歩行していると時々歩行できなくなる現象である。

★トレンドレンプルグ歩行：（ ）や（ ）筋麻痺）の患者では、患側下肢で起立した際に（ ）側の骨盤）が下がる。（ ）跛行）ともいう。

○片麻痺歩行：一側性の上位運動ニューロン障害（錐体路障害）の患者では、麻痺側の下肢は痙性となって足はやや足底側へ屈曲、前腕は屈曲回内位、上腕は胸部に向かって内転した状態をとる。
⇒（ ）肢位という）
歩行の名称⇒（ ）歩行）（ ）歩行）



★失調性歩行：歩行がつたなく不確実なもの。

脊髄後根・（ ）障害では深部知覚障害により、眼で足元を確認しながら足を運ぶ歩行（ ）障害では千鳥足のようには頭部や体幹が動揺し、患側によろめく。（ ）歩行）

★小歩症：（ ）病）では頭と上体を前屈し、ちょこちょこと小刻みに歩く。

患者を後ろから押すと重心が前に移って、加速度的に歩行が早くなる。（ ）歩行）

Yarl の重症度（パーキンソン病の指標）の特徴

I 度：身体の片側のみ振戦 II 度：身体の高側に振戦・筋強剛 III 度：姿勢反射障害 すくみ足など
IV 度：起立・歩行はなんとか自力で可能 要介助 V 度：起立・補講は介助なしでは不可能

△麻痺性歩行：下位運動ニューロン障害（末梢の神経障害）で歩行に変化が出る。

★（ ）神経麻痺）：尖足となり鶏足歩行が出現する。
（ ）神経麻痺）：踵足となる。踵足歩行。



△アヒル歩行：両側の（ ）の患者や、筋ジストロフィー患者で見られる。骨盤で大きな弧を描き、上体と肩を揺すりながら歩く。脊椎の前彎を伴う。



鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

歩行 練習問題

例題) 歩行について誤っている記述はどれか。

- 1 間歇性跛行には神経性と血管性のものがある。
- 2 下位運動ニューロン障害では、脊椎の前彎を伴うアヒル歩行が特徴である
- 3 片麻痺の患者では、下肢は伸展し、外方へ円を描くように歩く。
- 4 パーキンソン病では小歩症が見られる。

例題) 歩行と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

- 1 間欠性跛行——進行性筋ジストロフィー
- 2 すくみ足歩行——パーキンソン症候群
- 3 失調性歩行——小脳変性症
- 4 トレンデレンブルグ歩行——先天性股関節脱臼

例題) 歩行について誤っている組合せはどれか。

- 1 鶏歩——下位運動ニューロン障害
- 2 痙性歩行——上位運動ニューロン障害
- 3 アヒル歩行——錐体外路障害
- 4 失調性歩行——小脳障害

例題) 分回し歩行を示すのはどれか。

- 1 ギラン・バレー症候群
- 2 脳卒中
- 3 脊髄小脳変性症
- 4 慢性関節リウマチ

例題) 異常歩行と原因の組合せで誤っているのはどれか。

- 1 酩酊歩行——小脳疾患
- 2 小刻み歩行——パーキンソン病
- 3 アヒル歩行——筋ジストロフィ
- 4 鶏歩——股関節脱臼

例題) 鶏歩を示すのはどれか。

- 1 腓骨神経麻痺
- 2 進行性筋ジストロフィ
- 3 片麻痺
- 4 パーキンソン病

D 顔色

蒼 白：高度の（ ）患者で見られる。瞼結膜・口腔粘膜・爪床も蒼白となる。

チアノーゼ：毛細血管の還元ヘモグロビン濃度の上昇により、皮膚・粘膜が暗紫赤色を呈する。
先天性心疾患や（ ）疾患、（ ）心不全）や末梢循環不全で見られる。

潮 紅：発熱時、精神興奮時にみられる。（ ）症候群でも顔面は赤色となる。

黄 疸：血清中のビリルビン濃度が上昇し、皮膚が黄色になった状態をいう。球結膜・口腔粘膜も黄染する。
（ ）性黄疸）：肝胆道疾患など ⇒ 便色が（ ）色になる。
（ ）性黄疸）：溶血性貧血など

黄疸の解説 間接・直接ビリルビン 尿中ビリルビン・ウロビリノーグの解説

鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

顔色 練習問題

例題) 顔色で誤っているのはどれか。

- 1 貧血では蒼白になる。
- 2 低酸素血症ではチアノーゼを生じる。
- 3 肝硬変では黄色となる。
- 4 アジソン病では白くなる。

例題) 血中間接ビリルビンが高値となるのはどれか。

- 1 溶血性黄疸
- 2 急性肝炎
- 3 閉塞性黄疸
- 4 薬剤性肝障害

例題) 黄疸をきたす疾患で尿中ビリルビンが上昇しないのはどれか。

- 1 胆石症
- 2 膵臓癌
- 3 急性肝炎
- 4 溶血性貧血

例題) チアノーゼが見られる疾患はどれか。

- 1 過換気症候群
- 2 大動脈弁狭窄症
- 3 急性肝炎
- 4 特発性血小板減少性紫斑病

例題) チアノーゼについて正しいのはどれか。

- 1 皮膚が白くなる。
- 2 末梢循環不全で生じる。
- 3 貧血で現れやすい。
- 4 じんま疹のとき生じる。

例題) 血中ビリルビンで高値となるのはどれか。

- 1 急性肝炎
- 2 閉塞性黄疸
- 3 溶血性黄疸
- 4 薬剤性肝障害

E 目の診察

眼瞼の異常の有無を確認する。

上眼瞼下垂は、（ ）神経麻痺）などで出現する。 ※上眼瞼挙筋：動眼神経支配

他にも（ ）症候群）などでも観察される。三兆候：眼瞼下垂（眼裂狭小）・縮瞳・眼球陷凹

午後の眼瞼下垂は、（ ）症）などでみられ、（ ）筋）の疲労がある。

末梢性顔面神経麻痺では麻痺側の目が閉じられず、閉眼を指示すると眼が上方へ偏位する。

目の診察 練習問題

例題）眼瞼下垂をきたさないのはどれか。

- 1 顔面神経麻痺
- 2 重症筋無力症
- 3 動眼神経麻痺
- 4 ホルネル症候群

例題）ホルネル症候群で誤っているのはどれか。

- 1 眼球陷凹
- 2 縮瞳
- 3 眼振
- 4 眼裂狭小

例題）ホルネル症候群の原因とならないのはどれか。

- 1 星状神経節ブロック
- 2 交感神経遮断
- 3 パンコースト症候群
- 4 動眼神経麻痺

例題）ホルネル三症状でないのはどれか。

- 1 眼瞼下垂
- 2 縮瞳
- 3 共同偏視
- 4 眼球陷凹

F 筋萎縮・肥大・緊張

筋萎縮：下位運動ニューロン性のものと筋肉の疾患で発生する

四肢全域に及ぶもの：多発性筋炎、多発性神経炎、筋緊張性ジストロフィ

四肢遠位に偏るもの：筋萎縮性側索硬化症、シャルコー・マリー・トゥース病

四肢近位に偏るもの：ディシェンヌ型筋ジストロフィ、肢帯型筋ジストロフィ

分散・局在型：脊髄腫瘍、脊髄空洞症、脊髄神経根症（ヘルニアなど）

筋肥大：運動や職業による鍛錬でおこる。一部仮性肥大がある。

仮性肥大：ディシェンヌ型筋ジストロフィで特徴的。

筋力自体は低下、周りの脂肪組織がゴム様弾性をきたし、大きく見える。

（ ）や上腕などに認められる。

筋緊張の形

痙直：折りたたみナイフ現象ともいう。（ ）の障害で出現する。

硬直：鉛管現象ともいう。（ ）系の障害、特に（ ）病で顕著。

筋萎縮・肥大 練習問題

例題）下位運動ニューロン障害で正しいのはどれか。

- 1 腱反射の亢進
- 2 筋萎縮
- 3 不随意運動
- 4 感覚障害

例題）下位運動ニューロン障害で誤っている徴候はどれか。

- 1 弛緩性麻痺
- 2 深部反射の低下
- 3 筋萎縮
- 4 病的反射

例題）正しい組合せはどれか。

- 1 痙性麻痺——折りたたみナイフ現象
- 2 弛緩性麻痺——鉛管現象
- 3 筋強剛（固縮）——反射亢進
- 4 痙直——振り子様運動

例題）次の組み合わせで誤っているのはどれか。

- 1 間欠性跛行 — バージェー病
- 2 尖足 — 脛骨神経麻痺
- 3 弾性墜下跛行 — 先天性股関節脱臼
- 4 下腿仮性肥大 — ディシェンヌ型筋ジストロフィ

1-③ 触診

A 打診

打診音の種類

清 音：（ ）を叩打した際に聴取される音。

かなり長い比較的低調の音で音量は大きい。

濁 音：心臓や肝臓などの（ ）を叩打した際に聴取される音。

叩打によって発生する音量が小さく、持続性の短い、高調の音である。

※清音と濁音の境界⇒肺肝境界という

鼓 音：胃や腸などの（ ）を叩打した際に聴取される音。

振動が規則的で単音に近くなった音。清音に比べ高調で響きがある。

※体位変換現象：体位を変えた際に打診音が変化する。（ ）や（ ）の存在がある。

打診 練習問題

例題) 肝腫大の胸腹部打診所見はどれか。

- 1 濁音域の拡大
- 2 清音域の拡大
- 3 鼓音域の拡大
- 4 過共鳴音域の拡大

例題) 胸部の打診音と原因との組合せで正しいのはどれか。

- 1 清音—胸水貯留
- 2 濁音—気胸
- 3 鼓音—胸膜炎
- 4 過共鳴音—肺気腫

例題) 胸部打診で肺肝境界の下降を認めるのはどれか

- 1 緊張性気胸
- 2 気道閉塞
- 3 肺梗塞
- 4 胸膜炎

例題) 胸部の打診音と原因との組み合わせで正しいのはどれか。

- 1 濁 音 — 胸膜炎
- 2 鼓 音 — 気 胸
- 3 清 音 — 胸水貯留
- 4 過共鳴音 — 心臓弁膜症

B 四肢長および周径

上肢の計測

上肢長：() ～ ()
 上腕長：() ～ ()
 前腕長：() ～ ()
 手 長：() ～ ()

下肢の計測

棘果長：() ～ ()
 軀子果長：() ～ ()
 大腿長：() ～ ()
 下腿長：() ～ ()
 足 長：() ～ ()

上肢の周径

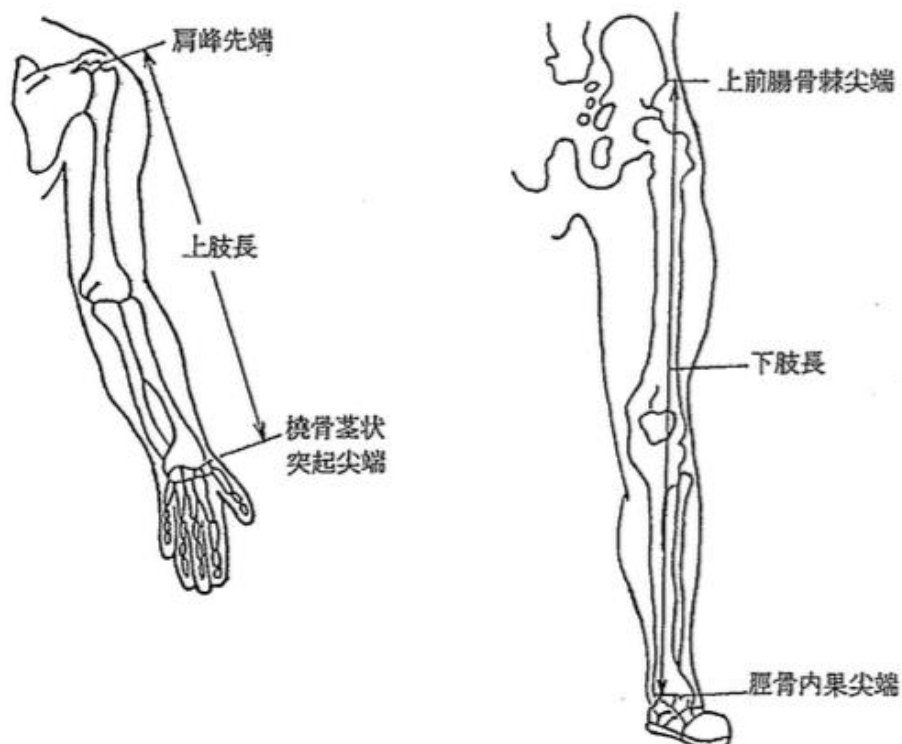
上腕周径：(筋) 最大膨大部で計測

前腕周径：前腕最大膨大部で計測

下肢の周径

大腿周径：成人の場合、()より(cm)上方で計測

下腿周径：下腿部最大膨大部で計測



鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

四肢長 周径 練習問題

例題) 四肢の周径の計測で誤っているのはどれか。

- 1 上腕周径は上腕二頭筋部最大径で測る。
- 2 前腕周径は前腕部最大径で測る。
- 3 大腿周径は大腿部最大径で測る。
- 4 下腿周径は下腿部最大径で測る。

例題) 四肢長の計測で誤っているのはどれか。

- 1 上肢長：肩峰外側端～橈骨茎状突起
- 2 前腕長：上腕骨外側上顆～橈骨茎状突起
- 3 大腿長：上前腸骨棘～外側膝関節裂隙
- 4 下腿長：外側膝関節裂隙～外果

例題) 計測について正しい記述はどれか。

- 1 大腿周径は最大周径で計測する。
- 2 前腕周径は前腕中央部で計測する。
- 3 下肢長は上前腸骨棘から脛骨内果を計測する。
- 4 上肢長は肩峰から尺骨茎状突起を計測する。

例題) 四肢長の計測で、上腕骨外側上顆を指標としているのはどれか。

- 1 上肢長
- 2 棘果長
- 3 転子果長
- 4 前腕長

C 脈拍の異常

健康成人の脈拍数は1分あたり65～85回である。1℃体温が上がるにつれて8～10/1分程度増加する。

1分間に（ ）拍) 以上の場合を「頻脈」という。

1分間に（ ）拍) 以下の場合は「除脈」という

頻脈がみられる疾患 : 貧血、心不全、甲状腺機能亢進症、大量出血など

除脈がみられる疾患 : 甲状腺機能低下症、脳圧亢進症、黄疸、房室ブロックなど

不整脈が見られる疾患 : 期外収縮、心不全、洞性不整脈など (詳しくは P27)

脈拍異常 練習問題

例題) 徐脈をきたすのはどれか。

- 1 鉄欠乏性貧血
- 2 閉塞性黄疸
- 3 甲状腺機能亢進症
- 4 交感神経活動の亢進

例題) 徐脈がみられるのはどれか。

- 1 バセドウ病
- 2 発熱
- 3 貧血
- 4 アダムス・ストークス症候群

例題) 脈拍について正しいのはどれか。

- 1 鉄欠乏性貧血では徐脈を呈する。
- 2 うっ血性心不全では頻脈を呈する。
- 3 甲状腺機能低下症では頻脈を呈する。
- 4 出血性ショックでは徐脈を呈する。

例題) 脈拍のリズムについて正しい記述はどれか。

- 1 期外収縮とは脈が1拍欠けるものをいう。
- 2 心房細動は絶対性不整脈を示す。
- 3 完全房室ブロックでは脈が速くなる。
- 4 洞性不整脈と呼吸のリズムとは無関係である。

D 骨・関節の異常

骨の異常

骨折の五大徴候：骨折局所の（ ）、機能障害、変形、異常可動性、（ ）

検査は、圧痛や叩打痛を調べる。骨折時は圧痛や軸圧痛がある。

叩打痛の検査は、（ ）痛と（ ）痛を調べる。

関節の異常

局所の熱感、皮下の結節、硬結、浮腫、リンパ節腫瘍、関節部の圧痛の有無、可動域などを調べる。

運動域制限

（ ）：骨、軟骨などの関節体の異常で運動域制限がおこるもの。

（ ）：関節包や靭帯、筋・腱などの軟部組織の異常で運動域制限がおこるもの。

（ ）：片麻痺などの神経系の異常があり運動域制限がおこるもの。

動揺関節：固定性や支持性に乏しい状態。

骨・関節の異常 練習問題

例題) 骨・軟骨などの関節体の異常で運動域制限がおこるのはどれか。

- 1 強剛
- 2 強直
- 3 拘縮
- 4 痙直

例題) 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 介達痛検査は、叩打痛の検査の一つである。
- 2 軋轢音は骨折時には見られにくい所見である。
- 3 関節包や靭帯など軟部組織の障害によって起こる可動域制限を、拘縮という
- 4 骨折の五大徴候には、機能障害が含まれる。

例題) 間接リウマチなど骨破壊が見られる疾患に好発する可動域制限はどれか。

- 1 痙直
- 2 強直
- 3 強剛
- 4 拘縮

例題) 脳血管障害後に発生しやすい可動域制限は次のうちどれか。

- 1 痙直
- 2 強直
- 3 鉛管現象
- 4 固縮

E 体温

真の体温とは、体内の温度（ ）をさす。⇒外界の影響を受けない部位

★（ ）温）＜（ ）温）＜（ ）温）で高い
※約 0.5℃ずつ違う

発熱：腋窩温が 37℃を超えるもの

（ ）：腋窩温が 37.0℃～37.9℃の発熱 （ ）：腋窩温が 39.0℃以上

（ ）：腋窩温が 36.0℃未満 （ ）：腋窩温が 41.5℃以上

体温 練習問題

例題) 次のうち、最も高いのはどれか。

- 1 鼓膜温
- 2 直腸温
- 3 腋窩温
- 4 口腔温

例題) 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 一般的には口腔温より直腸温の方が高い。
- 2 発熱とは、直腸温が 37.0 度を超えた時である。
- 3 腋窩温が 41.5 度を超えると過高熱という
- 4 低体温は、腋窩温が 36.0 度以下のものをいう

F 血圧

主に腕で測る。触診法と聴診法がある。

触診法：測定部位は（ ）動脈）。触診法では最低血圧は測定できない。

聴診法：測定部位は肘窩で（ ）動脈）拍動部。除圧で聴診音の変化が起こる。

★スワン第 1 点：最初に聴こえてくる拍動に一致した音。（ ）血圧）を示す。

スワン第 2 点

スワン第 3 点

スワン第 4 点：突然音が弱くなる。※

★スワン第 5 点：音が完全に無くなる。（ ）血圧）を示す。

※第 5 点が無く、音がずっと聞こえている患者は第 4 点を最低血圧として記載する。

⇒（ ）（ ）（ ）（ ）

血圧 練習問題

例題) 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 血圧測定における触診法では最高血圧は分からない。
- 2 最低血圧を示すのは、スワン第 5 点である。
- 3 聴診法に最も適している血管は上腕動脈である。
- 4 コロトコフ音とは、血圧計を除圧することで聞こえてくる音である

G 知覚検査

表在性知覚検査（触覚検査）

- ・触覚の鈍麻、脱失、過敏などを検査する。

四肢では（ ）方向）、体幹部では（ ）方向）に常に同じ長さこする。

- ・痛覚の異常は鈍麻、脱失、過敏、遅延を調べる
- ・温度覚の鈍麻、脱失、過敏などを検査する。

⇒老人や末梢循環不全患者では神経障害無しで鈍麻になっていることがあるので注意！

デルマトーム（下記）をしっかりと覚える事！

深部知覚

- ・「位置覚」：目で確認しなくても四肢がどのような位置にあるのか、わずかに動いてもどの部位がどの方向に動いたのかが分かる感覚。（ ）テスト）、膝 - 踵試験などが検査法。
- ・「振動覚」：振動を感じる感覚。音を骨に垂直に当てて振動を感じる時間を計測する。
位置覚と振動覚は（ ）を通るので、両者の障害は（ ）失調である。
- ・深部痛覚：筋肉・腱・睾丸など深部を強く圧迫した時感じる疼痛。

複合知覚

- ・「識別覚」：目を閉じて品物を触った時、その形・大きさなどから、その品物が何であるかを識別できる能力。硬貨や鉛筆・カギなどありふれたもので検査。反対側の（ ）障害。
 - ・2点識別覚：コンパスなどを用い、2本の先端を同時に同じ強さで皮膚に当てる。2本で触れられていると感じられる最短距離（★各部位の平均距離）を調べる。
- ★指先（3～6 mm） < 手背（3 cm） < 背部（4～7cm）

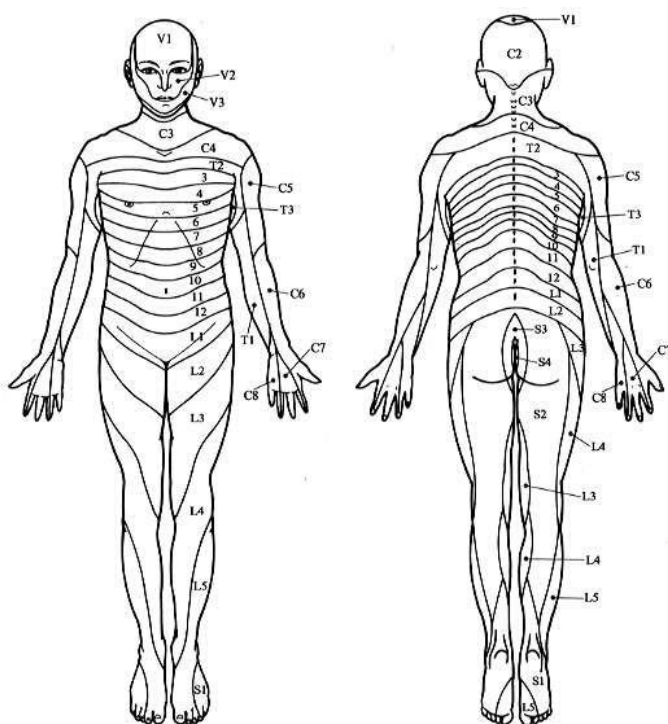
デルマトーム（皮膚領域）

特に重要なのは

上肢と下肢のデルマトーム。

C5～T1、L1～S1 までは

頻繁に国家試験に出ます。



鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

知覚検査 練習問題

例題) 閉脚起立時に閉眼すると著明に動揺する場合、病巣で適切なものはどれか。

- 1 大脳皮質
- 2 大脳基底核
- 3 小脳
- 4 脊髄後索

例題) 脊髄後索性失調の検査で最も適切なものはどれか。

- 1 ロンベルグ試験
- 2 変換運動
- 3 膝踵試験
- 4 書字試験

例題) 運動失調の検査でないのはどれか。

- 1 指鼻試験
- 2 手回内回外試験
- 3 踵膝試験
- 4 皮膚書字試験

例題) デルマトームと神経根の組み合わせで誤っているのはどれか。

- 1 中指 — C 7
- 2 下腿外側 — L 5
- 3 足底 — S 2
- 4 上腕外側 — C 5

H 反射検査 覚えるべきは反射弓（求心性神経 ⇒ 反射中枢 ⇒ 遠心性神経）！**粘膜反射**

- ・角膜反射：（ 神経 ⇒ 橋 ⇒ 神経 ）
- ・鼻粘膜反射：（ 三叉神経 ⇒ 脳幹・上部頸髄 ⇒ 三叉・顔面・舌咽・迷走神経・上部頸髄神経 ）
- ・咽頭反射：（ 神経 ⇒ 延髄 ⇒ 神経 ）

皮膚反射 ※大事なのは反射中枢！

- ・腹壁反射：（ 臍上：T6～9 臍周囲：T9～11 臍下：T11～L1 ）
- ・挙睾筋反射：（ 大腿神経 ⇒ ⇒ 陰部大腿神経 ）
- ・足底反射：（ 脛骨神経 ⇒ ⇒ 脛骨神経 ）
- ・肛門反射：（ 陰部神経 ⇒ ⇒ 陰部神経 ）

深部反射 ※大事なのは反射中枢！

- ・眼輪筋反射：（ 神経 ⇒ 橋 ⇒ 神経 ）
- ・下顎反射：（ 神経 ⇒ 橋 ⇒ 神経 ）
- ・二頭筋反射：（ 筋皮神経 ⇒ ⇒ 筋皮神経 ）
- ・三頭筋反射：（ 橈骨神経 ⇒ ⇒ 橈骨神経 ）
- ・腕橈骨反射：（ 橈骨神経 ⇒ ⇒ 橈骨神経 ）
- ・尺骨反射：（ 尺骨神経 ⇒ ⇒ 尺骨神経 ）
- ・膝蓋腱反射：（ 大腿神経 ⇒ ⇒ 大腿神経 ）
- ・アキレス腱反射：（ 脛骨神経 ⇒ ⇒ 脛骨神経 ）

臓器反射 ※これは基本全部！

- ・対光反射：（ ⇒ ⇒ ）
- ・輻輳反射：（ ⇒ ⇒ ）
- ・アシュネル反射：（ ⇒ ⇒ ）
- ・ツェルマクヘーリング反射：（ ⇒ ⇒ ）

病的反射（語呂あわせ）

ホン ト ワ 、 オ バ チャン ゴ メ ゴ ロ シ

鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

反射検査 練習問題

例題) 膝蓋腱反射について正しい記述はどれか。

- 1 表在反射の一つである。
- 2 反射中枢は脊髄にある。
- 3 ビタミンD欠乏症で亢進する。
- 4 坐骨神経の疾患で減弱する。

例題) 反射について誤っている組合せはどれか。

- 1 バビンスキー反射——病的反射
- 2 膝蓋腱反射——深部反射
- 3 挙睾筋反射——表在反射
- 4 トレムナー反射——自律神経反射

例題) 深部反射とその中枢との組合せで誤っているのはどれか。

- 1 上腕二頭筋反射——C 5－C 6
- 2 上腕三頭筋反射——T h 1－T h 2
- 3 膝蓋腱反射——L 2－L 4
- 4 アキレス腱反射——S 1－S 2

例題) 表在反射でないのはどれか。

- 1 角膜反射
- 2 咽頭反射
- 3 下顎反射
- 4 挙睾筋反射

例題) 反射について正しい組合せはどれか。

- 1 足底反射——深部反射
- 2 腹壁反射——皮膚反射
- 3 アシュネル反射——病的反射
- 4 下顎反射——粘膜反射

Ⅰ 意識

Japan Coma Scale()の分類 (— — 度方式とも言う)

GradeⅠ (1桁の数字で記載。 「 」 状態。)

GradeⅡ (2桁の数字で記載。 「 」 状態。)

GradeⅢ (3桁の数字で記載。 「 」 状態。)

表1 ● Japan Coma Scale (JCS)

Ⅰ. 覚醒している (レベル1桁:1桁の点数で表現)	0	意識清明である
	I-1	見当識は保たれているが意識清明ではない
	I-2	見当識障害がある
	I-3	自分の名前・生年月日が言えない
Ⅱ. 刺激に応じて一時的に覚醒する (レベル2桁:2桁の点数で表現)	Ⅱ-10	普通の呼びかけで開眼する
	Ⅱ-20	大声で呼びかけたり,強く揺すったりするなどで開眼する
	Ⅱ-30	痛み刺激を加えつつ,呼びかけを続けると辛うじて開眼する
Ⅲ. 刺激しても覚醒しない (レベル3桁:3桁の点数で表現)	Ⅲ-100	痛みに対して払いのけるなどの動作をする
	Ⅲ-200	痛み刺激で手足を動かしたり,顔をしかめたりする
	Ⅲ-300	痛み刺激に対しまったく反応しない

意識 練習問題

例題) 3-3-9度方式で、大声で呼びかけると開眼する意識状態はどれか。

- 1 3
- 2 10
- 3 20
- 4 30

例題) JCS (日本睡眠尺度)における意識障害の中で、最も軽いのはどれか。

- 1 普通の大きさの声で呼ぶと開眼する。
- 2 自分の生年月日を言えない。
- 3 痛みを加えると顔をしかめる。
- 4 痛みを加えると開眼する。

1. 明識困難

ややぼんやりとして思考のまとまりが十分でなく、見当識障害は見られない

2. 昏蒙

うとうとしている状態、浅眠状態でぼんやりとしている

3. 傾眠

呼びかけると目を開けるが、また眠る

4. 嗜眠・昏眠・昏迷

つねると目を開けるといった刺激が加わらないと眠り込んでしまう

5. 昏睡(コーマ)

つねっても無反応のように、刺激を与えても覚醒しない

以上の5つの区分は、その境界が連続的です。

J 生命徴候**★脈の異常**

不整脈

- ・洞性不整脈：吸気時に拍数が多く、呼気時に少なくなる。病的意義はない。
- ・期外収縮：起こるべき時期より早く拍動が起こる。脈拍は触れないこともある。
- ・絶対性不整脈：間隔・強さ・大きさが不同で不規則なもの。心房細動はコレ。
- ・心ブロック：洞結節～心室までの刺激伝導系の障害。

脈の大きさ

- ・大脈：大動脈弁閉鎖不全症、脚気、甲状腺機能亢進症、高熱時など
- ・小脈：大動脈弁狭窄症など

脈の遅速

- ・速脈：大動脈弁閉鎖不全症、貧血、甲状腺機能亢進症、高熱時など
- ・遅脈：大動脈弁狭窄症など

★呼吸の異常

- ・頻呼吸：呼吸数の増加。心不全や肺炎、髄膜炎、尿毒症などで見られる。
- ・除呼吸：呼吸数の減少。脳圧亢進、気管支閉塞、モルヒネ中毒などで見られる。
- ・呼吸困難：呼吸の際に努力感を伴うもの。心不全や呼吸器疾患、重症貧血、呼吸筋麻痺。
- ・起坐呼吸：座位で身体の前に布団をあてがって呼吸する。心不全など。()
- ・過換気：呼吸数と大きさが異常増加する。精神興奮や、尿毒症性・糖尿病性昏睡時など。

★血圧の異常

- ・高血圧：WHO では、収縮期血圧／拡張期血圧が、(/ mm Hg) 以上を定義。

本態性高血圧⇒原因が明らかでない

二次性高血圧⇒腎性（腎炎や膠原病など）、内分泌性（褐色細胞腫、クッシング病、Conn 症候群など）
神経性（脳圧亢進など）、心臓血管性（大動脈閉鎖不全症など）

- ・低血圧：収縮期血圧が、（男： mm Hg、女 mm Hg）未満を定義。

生命徴候 練習問題

例題）脈拍のリズムについて正しい記述はどれか。

- 1 期外収縮とは脈が1拍欠けるものをいう。
- 2 心房細動は絶対性不整脈を示す。
- 3 完全房室ブロックでは脈が速くなる。
- 4 洞性不整脈と呼吸のリズムとは無関係である。

例題）WHOの高血圧分類で境界域の拡張期血圧はどれか。

- 1 80－89 mmHg
- 2 90－94 mmHg
- 3 95－99 mmHg
- 4 100－104 mmHg

K リンパ節の触診

表在性リンパ節の部位 （側頸部、下顎部、鎖骨窩、腋窩、鼠径部、肘部、膝部など）

リンパ節腫脹を来す主な疾患

- ・化膿性リンパ節炎：頸部、腋窩部、鼠径部に多い。腫れや痛みが強く、38℃以上の発熱も起こる。
- ・リンパ性結核：周囲組織と癒着する ⇒ 腺塊を形成
- ・伝染性単核症：（ ）ウイルスが原因、柔らかいリンパ結節。圧痛はほとんどない
- ・梅毒：第1期で腫脹が見られ、第3期では（ ）を形成
- ・悪性リンパ腫：リンパの弾性は硬く、発赤や熱感、圧痛はなし。（ ）病など。免疫低下。
- ・白血病：全身性にリンパが腫脹する。圧痛や癒着はなし
- ・悪性腫瘍のリンパ節転移：きわめて硬い腫脹を形成。胃がんの左鎖骨上窩転移（ ）など

リンパ節 練習問題

例題）リンパ節の圧痛がよくみられるのはどれか。

- 1 悪性リンパ腫
- 2 白血病
- 3 伝染性単核球症
- 4 化膿性リンパ節炎

例題）圧痛を特徴とするリンパ節腫脹がみられる疾患はどれか。

- 1 化膿性リンパ節炎
- 2 結核性リンパ節炎
- 3 悪性リンパ腫
- 4 転移性悪性腫瘍

例題）ウィルヒョウのリンパ節の部位はどれか。

- 1 右腋窩
- 2 左腋窩
- 3 右鎖骨上窩
- 4 左鎖骨上窩

例題）易感染症に留意すべき疾患はどれか。

- 1 高血圧症
- 2 痛風
- 3 悪性リンパ腫
- 4 高脂血症

L 甲状腺の触診

甲状腺が腫脹する主な疾患

- ・単純性びまん性甲状腺腫：思春期の女性に多く柔らかな甲状腺を触知。機能異常はない。
- ・バセドウ病：やや硬く弾性力ある甲状腺を触れる。3 主徴候（ ）
- ・橋本病：ゴム様弾性がありかなり硬い。進行すると甲状腺機能が低下する。
- ・甲状腺がん：硬く、表面不整。腫脹の可動性は少ない。

M 眼球周囲の異常・眼球運動の異常

- ・眼瞼下垂：動眼神経麻痺、重症筋無力症など
- ・複視：動眼神経・滑車神経・外転神経の一側性の麻痺。物が二重に見える。
- ・斜視：一眼が外方または内方に偏位した状態。先天的に見られる。
- ・瞼結膜蒼白：貧血
- ・角膜の白濁：先天性梅毒や白内障
- ・眼振：眼球が一方向へピクピクと迅速に反復性に動く不随運動。

アルコール中毒や迷路・小脳・脳幹などの異常で出現する。

- ・視野欠損を生じる障害

図

同名半盲：（ ）障害

両耳性半盲：（ ）障害

1/4 半盲：（ ）障害

暗点拡大：（ ）

- ・視力障害

近視・遠視・乱視などの視力低下。

病的には白内障や緑内障（ ）亢進）、

眼底出血や網膜はく離などでみられる。

眼球運動の異常 視野 練習問題

例題) 同名半盲をきたす障害部位はどれか。

- 1 視索
- 2 視交叉
- 3 視神経
- 4 視放線

例題) 暗点が拡大する視野障害を起こすのはどれか。

- 1 下垂体腫瘍
- 2 脳腫瘍
- 3 滑車神経麻痺
- 4 白内障

N 耳・口の診察**聴力**

- ・伝音性難聴：外耳道閉塞や中耳炎などで起こる。（骨導聴力 > 気導聴力）

主な疾患 ⇒ 異物塞栓、耳管炎、耳管狭窄症、中耳炎、乳様突起炎、耳硬化症など

主な検査項目 ⇒ リンネテストで患側の気導聴力低下 ウェーバーテストで患側に傾聴

- ・感音性難聴：内耳・聴神経・中枢の障害などで生じる。高音の耳鳴を伴いやすい。

主な疾患 ⇒ 聴神経腫瘍、小脳橋角部腫瘍、脳腫瘍、脳水腫、多発性硬化症

メニエール病、老人性難聴、内耳炎、突発性難聴

主な検査項目 ⇒ ウェーバーテストで健側に傾聴

口臭

- ・アルコール臭：アルコール中毒など
- ・尿臭：アンモニア臭が見られ、尿毒症患者に見られる
- ・アセトン臭：糖尿病性昏睡、高度アシドーシス患者で見られる。
- ・肝性口臭：腐った卵とにんにくの混じった様な匂いで、肝性昏睡に見られる。

舌の変化

- ・巨大舌：先端巨大症、甲状腺機能低下症、アミロイドーシスなど
- ・震舌：甲状腺機能亢進症、慢性アルコール中毒、麻痺性痴呆など
- ・偏舌：麻痺側へ舌が偏移 片麻痺患者など。
- ・いちご舌：舌が真っ赤となり、乳頭が腫脹してくる。（ ）患者に見られる。

口・耳の検査 練習問題

例題）リンネテスト陰性となる疾患はどれか。

- 1 メニエール病
- 2 小脳橋角部腫瘍
- 3 聴神経腫瘍
- 4 中耳炎

例題）いちご舌が見られるのはどれか。

- 1 A群β溶血性連鎖球菌感染
- 2 梅毒
- 3 バセドウ病
- 4 COVID - 19

〇 胸部・腹部の診察**胸部**

- ・樽状胸：（ ）患者で見られる。肺肝境界の（ ）が見られる。
- ・扁平胸：胸郭が狭長で、前後に扁平な状態。無力体型の人に多い。
- ・漏斗胸：胸骨下部が著明に陥凹するもの
- ・鳩胸：（ ）患者で見られる。
- ・女性化乳房：（ ）患者などで見られる。門脈圧亢進症状を伴う。
- ・胸椎の高度後弯：脊椎カリエスや脊椎骨関節炎 脊柱の局所突出⇒（ ）
- ・声音震盪減弱：気胸、胸水貯留、肺気腫などで見られる。

腹部

- ・腹壁静脈怒張（ の頭）：肝硬変や下大静脈血栓症などの門脈血行障害で見られる。
- ・腸管ぜん動不穏：腸管に通過障害が起きた際、蠕動運動が亢進。腹壁上から認める。
- ・グル音：グル音増強は腸管の通過障害、グル音消失は麻痺性イレウスなど。

腹部・胸部の診察 練習問題

例題) 肺気腫患者にみられにくいのはどれか。

- 1 声音振盪減弱
- 2 樽状胸
- 3 女性化乳房
- 4 肺肝境界の下降

例題) 麻痺性イレウスの特徴はどれか。

- 1 ぜん動不穏
- 2 腹壁静脈怒張
- 3 樽状胸
- 4 グル音消失

P 四肢の診察 手指の変形

疾患の特徴的な変形や失調運動、筋萎縮など

猿手：筋萎縮性側索硬化症、末梢性（ ）神経麻痺など。手の母指球・小指球の萎縮。

鷲手：末梢性（ ）神経麻痺など。骨間筋・虫様筋が麻痺、手背骨間が著明に陥凹。

下垂手：末梢性（ ）神経麻痺など。手の伸展が不能。

デュピイトレン拘縮：肝疾患など。1～数指が手掌側に屈曲し伸展不可となる。（ ）短縮）。

ヘバーデン結節：変形性関節症の一つ。手の（ ）指節間関節の結節。

プシャール結節：変形性関節症の一つ。手の（ ）指節間関節の結節。

鋤手：（ ）患者に見られる。広く角ばった手掌と太い指を見せる。

くも状指：（ ）症候群の患者に見られる。指が細くなる。

太鼓ばち指：先天性心疾患、慢性肺疾患（ ）などで見られる。チアノーゼを伴う。

尺側偏位・スワンネック変形・ボタン穴変形・オペラグラスハンド変形 ⇒ 関節リウマチ

手掌紅斑：肝硬変などで見られる。

レイノー現象：発作性の四肢末梢の貧血。（ ）やSLEなどの膠原病でも見られる。

ソーセージ指：特有の光沢をもって硬化し、指の屈伸が困難となる。（ ）患者

スプーンネイル：（ ）貧血患者に見られる。



鍼灸総合演習Ⅰ 臨床医学総論 テキスト

手指の変形 練習問題

例題) 次の組み合わせで正しいのはどれか。

- 1 猿手 — 正中神経麻痺
- 2 鷲手 — 橈骨神経麻痺
- 3 くも状指 — 関節リウマチ
- 4 手掌紅斑 — CRPS I

例題) 誤っている組み合わせはどれか。

- 1 プシャール結節 — 遠位指節間関節部の結節
- 2 ボタン穴変形 — 関節リウマチ
- 3 ソーセージ指 — 肺気腫
- 4 スプーンネイル — 鉄欠乏性貧血

例題) レイノー現象を起こしやすい疾患はどれか。

- 1 僧帽弁狭窄症
- 2 SLE
- 3 C型肝炎
- 4 マルファン症候群

例題) 悪性のリウマチ患者（ムチランス型リウマチ）に特にみられやすい指の変形はどれか。

- 1 オペラグラスハンド変形
- 2 スワンネック変形
- 3 尺側偏移
- 4 ボタン穴変形

Q 四肢の診察 その他

安静時振戦：（ ）患者に見られる。大脳基底核障害、（ ）障害

企図振戦：多発性硬化症や（ ）失調に見られる。

羽ばたき振戦：大脳基底核障害、肝臓疾患で出る。（ ）病で特徴的。

四肢全域の萎縮：多発性筋炎、多発性神経炎、筋緊張性ジストロフィー

四肢遠位の萎縮：（ ）、シャルコーマリー・ツース病など

四肢近位の萎縮：進行性筋ジストロフィー（ ）型、肢帯型など）

局在性の萎縮：脊髄腫瘍、脊髄空洞症、末梢神経障害、脊髄神経根症

痙直：（ ）現象）とも呼ばれる。（ ）路）の障害。

硬直：（ ）現象）とも呼ばれる。（ ）路）の障害。

強直：関節の運動制限の中でも、骨・軟骨の病変により生じるもの。（ ）など

拘縮：関節の運動制限の中でも、関節包・靱帯・皮膚・筋肉・腱の病変により生じるもの。

動揺関節：正常関節可動域以上に運動が行われるもの。

四肢の診察 練習問題

例題) 次のうち、正しい組み合わせはどれか。

- 1 安静時振戦 — 小脳出血
- 2 羽ばたき振戦 — ウィルソン病
- 3 企図振戦 — パーキンソン病
- 4 筋線維束性攣縮 — 脊髄小脳変性症

例題) 誤っているのはどれか。

- 1 痙直 — 錐体路障害
- 2 強直 — 関節リウマチ
- 3 拘縮 — パーキンソン病
- 4 硬直 — 錐体外路障害

例題) 特に四肢遠位の筋萎縮を起こす疾患はどれか。

- 1 肢帯型進行性筋ジストロフィー
- 2 ALS
- 3 ギランバレー症候群
- 4 ディシェンヌ型筋ジストロフィー

Ⅱ. 理学検査一覧

A. 頸部神経根の検査法

検査法名	陽性時の疾患	使用経穴
ジャクソンテスト	頸椎症（神経根傷害）	高位部位の椎間外方部
スパーリングテスト	頸椎症（神経根傷害）	高位部位の椎間外方部
イートンテスト	頸椎症（神経根傷害）	高位部位の椎間外方部
しびれの部位と高位診断 上腕外側…（ ） 前腕外側・母指…（ ） 中指…（ ） 小指…（ ） 前腕内側・上腕内側…（ ）		

頸部神経根の検査 練習問題

例題) スパーリングテストにおいて、左上腕外側に放散痛がある場合、障害のある神経根はどれか。

- 1 C4
- 2 C5
- 3 C6
- 4 C7

例題) 次のうち、神経伸展テストなのはどれか。

- 1 イートンテスト
- 2 ジャクソンテスト
- 3 ケンプテスト
- 4 スパーリングテスト

例題) 右 C8 神経根障害がある際、ジャクソンテストの結果考えられる放散痛部位はどれか。

- 1 右中指
- 2 右母指
- 3 右小指
- 4 右前腕内側

B. 胸郭出口、外側上顆炎の検査

検査法名	陽性時の疾患	使用経穴
テスト	斜角筋症候群	天鼎・扶突・欠盆
テスト	斜角筋症候群	天鼎・扶突・欠盆
テスト	肋鎖症候群	気戸・兪府
テスト	小胸筋症候群 過外転症候群	中府・屋翳・膺窓・胸郷 周榮・天池など
チェアテスト	() 炎	曲池・肘髁・天井・手三里など
トムゼンテスト	() 炎	曲池・肘髁・天井・手三里など

胸郭出口の検査 練習問題

例題) 胸郭出口の検査において、患者の脈を取ることをしない検査はどれか。

- 1 アドソンテスト
- 2 モーリーテスト
- 3 エデンテスト
- 4 ライトテスト

例題) 肋鎖症候群を疑う患者で陽性となる検査はどれか。

- 1 ライトテスト
- 2 アドソンテスト
- 3 エデンテスト
- 4 モーリーテスト

例題) バックハンドテニス肘の患者で用いる検査でないのはどれか。

- 1 チェアテスト
- 2 スピードテスト
- 3 トムゼンテスト
- 4 中指伸展テスト

例題) トムゼンテスト陽性の患者の局所に対する鍼灸治療で、用いる経穴はどれか。

- 1 曲沢
- 2 郛門
- 3 小海
- 4 曲池

C. 肩関節系の検査法

検査法名	陽性時の疾患	使用経穴
スピードテスト	上腕二頭筋長頭腱炎	天泉・天府・侠白・青霊・臂臑など
ストレッチテスト	上腕二頭筋長頭腱炎	天泉・天府・侠白・青霊・臂臑など
ヤーガソンテスト	上腕二頭筋長頭腱炎	天泉・天府・侠白・青霊・臂臑など
サイン	() 筋損傷・腱板炎	巨骨・秉風・曲垣など
サイン	() 筋断裂	巨骨・秉風・曲垣など
テスト	三角筋下滑液包炎	
インピジメントテスト	インピジメント症候群	巨骨・秉風・曲垣など

肩関節の検査 練習問題

例題) ペインフルアークサイン陽性時に疑われる筋で誤っているのはどれか。

- 1 棘上筋
- 2 棘下筋
- 3 小円筋
- 4 大円筋

例題) ダウバーンテストで陽性の場合に疑われる症状はどれか。

- 1 棘上筋断裂
- 2 棘状筋炎
- 3 上腕二頭筋長頭腱炎
- 4 三角筋下滑液包炎

例題) 上腕二頭筋長頭腱炎で陽性とならない検査はどれか。

- 1 ストレッチテスト
- 2 ヤーガソンテスト
- 3 トムゼンテスト
- 4 スピードテスト

例題) ペインフルアークサイン陽性時に局所に刺鍼する場合、最も適切な経穴はどれか。

- 1 巨骨
- 2 鳩尾
- 3 天窓
- 4 兪府

D. 肘部、手部の検査法

検査法名	陽性時の疾患	使用経穴
肘部チネル徴候	症候群	小海
テスト	手根管症候群	大陵・太淵
リストチネル徴候	症候群 症候群	大陵・太淵
		神門
テスト テスト	病	陽溪・偏歴
		長指伸筋・長母指外転筋
サイン	神経麻痺	少海・小海・霊道・通里・神門

肘部、手部の検査 練習問題

例題) ギヨン管症候群で障害を受けている神経はどれか。

- 1 正中神経
- 2 尺骨神経
- 3 橈骨神経
- 4 筋皮神経

例題) 手根管症候群の際に陽性となる検査名はどれか。

- 1 フローマンテスト
- 2 ファーレンテスト
- 3 肘部チネル徴候
- 4 アイヒホッフテスト

例題) フィンケルシュタインテストで陽性時に治療対象となる筋肉はどれか。

- 1 長母指外転筋
- 2 短指伸筋
- 3 総指伸筋
- 4 小指伸筋

例題) フローマンテストが陽性となる患者で、今後萎縮が考えられる筋肉でないのはどれか。

- 1 虫様筋
- 2 背側骨間筋
- 3 掌側骨間筋
- 4 尺側手根伸筋

E. 腰部神経根の検査法

検査法名	陽性時の疾患	使用経穴
SLR テスト	腰部ヘルニア (神経根障害)	高位部位の椎間外方部
ブラガードテスト	腰部ヘルニア (神経根障害)	高位部位の椎間外方部
FNS テスト	腰部ヘルニア (神経根障害)	高位部位の椎間外方部
しびれの部位と高位診断 大腿内側・腓脛部… () 大腿外側… () 膝周囲… () 下腿内側… () 下腿外側・足背内側… () 足背外側・足底… () 下肢後面… ()		

腰部神経根の検査 練習問題

例題) 次のうち、S1 神経根障害を疑う患者の所見はどれか。

- 1 下腿内側の痺れ
- 2 下腿外側と足背内側の痺れ
- 3 足背外側と足底の痺れ
- 4 下肢後面の痺れ

例題) FNS テストにおいて大腿外側のしびれが出た。疑われる神経根はどれか。

- 1 L1
- 2 L2
- 3 L3
- 4 L4

例題) 神経根の障害により、下肢後面及び足背外側と足底が痺れている患者の反射所見はどれか。

- 1 アキレス腱反射 (+) 膝蓋腱反射 (+)
- 2 アキレス腱反射 (+) 膝蓋腱反射 (-)
- 3 アキレス腱反射 (-) 膝蓋腱反射 (+)
- 4 アキレス腱反射 (-) 膝蓋腱反射 (-)

F. 膝部の検査法

検査法名	陽性時の疾患	使用経穴
膝蓋跳動	膝関節炎	犢鼻・内膝眼・鶴頂・膝下など
内反ストレステスト	() 損傷 () 損傷	曲泉・膝陽関・膝関・陰谷など
外反ストレステスト	() 損傷 () 損傷	曲泉・膝陽関・膝関・陰谷など
ラックマンテスト	() 損傷	
前方引き出しテスト	() 損傷	
後方押し込みテスト	() 損傷	
マックマレーテスト	半月板損傷	犢鼻・内膝眼・鶴頂・膝下など
ステインマンテスト	半月板損傷	犢鼻・内膝眼・鶴頂・膝下など
圧アプレーテスト	半月板損傷	犢鼻・内膝眼・鶴頂・膝下など
引アプレーテスト	側副靱帯損傷	曲泉・膝陽関・膝関・陰谷など

膝部の検査 練習問題

例題) 引アプレーテストで右膝外側に痛みが出た場合、損傷している箇所はどれか。

- 1 外側半月板
- 2 内側半月板
- 3 外側側副靱帯
- 4 内側側副靱帯

例題) 外反ストレステストで内側に痛みが出た際、損傷している箇所はどれか。

- 1 外側半月板
- 2 内側半月板
- 3 外側側副靱帯
- 4 内側側副靱帯

例題) ラックマンテストが陽性になった患者の損傷している靱帯はどれか。

- 1 前十字靱帯
- 2 後十字靱帯
- 3 外側側副靱帯
- 4 内側側副靱帯

G. 腰下肢の検査法

検査法名	陽性時の疾患	使用経穴
テスト	() 筋の短縮	衝門
K ボンネットテスト	() 症候群	小野寺殿部点など
テスト	股関節疾患	環跳
グラスピングテスト	() 炎	風市・中瀆・膝陽関
ニュートンテスト	() 炎	関元兪・小腸兪・膀胱兪
トンプソンテスト	() 断裂	崑崙・太溪・跗陽・復溜など
アキレス腱伸展テスト	アキレス腱炎	崑崙・太溪・跗陽・復溜など

腰下肢の検査 練習問題

例題) アキレス腱断裂を疑うテストはどれか。

- 1 パトリックテスト
- 2 グラスピングテスト
- 3 ニュートンテスト
- 4 トンプソンテスト

例題) グラスピングテスト陽性の患者の局所治療で用いる経穴で適切なものはどれか。

- 1 中都
- 2 中瀆
- 3 中髎
- 4 中衝

例題) ニュートンテスト陽性の患者で、障害を疑うべき関節はどれか。

- 1 胸鎖関節
- 2 仙腸関節
- 3 股関節
- 4 椎間関節

例題) トーマステスト陽性の患者の病態を示しているのはどれか。

- 1 手掌腱膜の短縮
- 2 腸腰筋の短縮
- 3 足底腱膜の炎症
- 4 膝関節の炎症

「」：白血球数。正常値は 4000～9700／1 mm³。

「」：赤血球数。正常値は 380 万～560 万／1 mm³。

「」：血小板数。正常値は 15 万～35 万／1 mm³。

「」：ヘマトクリット値。赤血球容積比を示す。正常値は 35～50%。

「」：善玉コレステロールといわれる。高密度リポ蛋白。基準値は 40～96 mg／dl。

「」：悪玉コレステロールといわれる。低密度リポ蛋白。基準値は 70～139 mg／dl。

「」：トリグリセライド。血中中性脂肪の数値。基準値は空腹時で 30～149 mg／dl。

「」：クレアチン・キナーゼ。筋原性酵素の一つ。筋肉系の疾患の指標。

「」：乳酸脱水素酵素。臓器障害や細胞崩壊により血中に漏出する。臓器検査の指標。

「」：アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ。急性肝炎など肝疾患の時に血液中濃度が増加する。

「」：アラニンアミノトランスフェラーゼ。
肝細胞に多く含まれる酵素で高値は肝細胞の異常を示す。

「」：アルカリフォスホターゼ。種々の疾患で高値となるが、（ ）疾患の指標。

「」：C 反応性蛋白。通常は出ない。陽性時は炎症を示す所見となる。

「」：尿素窒素。腎機能を測定する指標。

「」：ガンマグルタミントランスペプチターゼ。肝機能を測定する指標。

「」：正常値は 6.2%以下。糖尿病診断基準の一つ。

Ⅲ. 病態

A. 発熱

定義

体温調節中枢に異常があり、正常体温より高くなった状態。 【定義】腋窩温（ ）℃以上。

外来性発熱物質（ ） ・ 体内性発熱物質（インターフェロン など）が原因。

原因疾患

- ・ 感染症（白血球・赤沈・CRP の異常）
- ・ 腫瘍（CT や胸部 X 線）
- ・ 膠原病（自己抗体など）
- ・ 代謝異常（甲状腺ホルモンなど）
- ・ アレルギー性疾患 など

検査

尿・便、白血球・赤沈・CRP の検査、喀痰・髄液などの細菌培養⇒感染源同定のため。

がんなどを疑う場合は CT や胸部 X 線など

発熱 練習問題

例題) 次のうち、発熱を起こさない疾患はどれか。

- 1 腫瘍
- 2 膠原病
- 3 細菌感染症
- 4 虚血性心疾患

例題) 次のうち、誤っているのはどれか。

- 1 外来性発熱物質には、インターフェロンがある
- 2 炎症所見には白血球増多がある
- 3 腋窩温で 37℃以上ある場合を発熱とする
- 4 膠原病では自己抗体が陽性となることが多い

例題) 次のうち、感染症に見られにくいのはどれか。

- 1 CRP 陽性
- 2 好中球増多
- 3 赤血球沈降速度の低下
- 4 喀痰検査における抗原反応

頭痛

定義

頭部に感じる痛みを頭痛という

分類と原因疾患

- ・筋緊張型（筋収縮型）頭痛：緊縛感や圧迫感を伴う頭痛。（ ）に多い。
- ・片頭痛型（血管型）頭痛：片側に多い拍動性頭痛。（ ）や悪心嘔吐を伴う。前駆症状（ ）
- ・牽引性頭痛：脳腫瘍や脳浮腫などで生じる痛み。（ ）を伴う。眼圧はチェック。
- ・神経痛：（ ）神経や（ ）神経などがあり、痛みは刺される様な電撃痛。神経分布領域に局限する。

検査

- ・問診（時期や部位 夜に多く出る痛みは片頭痛や脳器質性が多く、早朝は片頭痛、高血圧症など）
（痛みの性質と程度 拍動性の有無、「針で刺されるような」など特徴的な痛みがあるか）
（随伴症状の有無 悪心・嘔吐・めまいなどを聴取する 嘔吐は頭蓋内圧亢進でしばしばみられる）
- ・血圧
- ・筋圧痛や叩打痛、髄膜刺激症状（ ・ ・ ）など
- ・X線検査 頭部単純撮影やCT・MRI検査、脳血管造影など
- ・髄液検査 腰椎穿刺により行う。髄液圧や蛋白定量、細胞数測定、細菌培養などを行う。

頭痛 練習問題

例題）次のうち、脳腫瘍で見られやすい頭痛はどれか。

- 1 緊縛感を伴う痛み
- 2 引っ張られるような痛み
- 3 電撃様の痛み
- 4 拍動性の痛み

例題）髄膜刺激症状はどれか。

- 1 ブルンベルグ徴候
- 2 ロンベルグ徴候
- 3 ガワーズ徴候
- 4 ブルジンスキー徴候

例題）髄液検査におけるキサントクロミーの検出は何を示しているか。

- 1 髄液の成分異常
- 2 髄液内への血液の流入
- 3 髄液の蛋白濃度
- 4 髄液内での抗原有無

B. めまい

定義

- () 眩暈、めまい : 身体が回る、天井や床が傾く、周囲のものがぐるぐる回る感じなどの運動性なもの
 身体の平衡を保つ眼や前庭・迷路、脊髄運動系などの反射の障害
- () 眩暈、めまい感 : ふらふらする、目の前が暗くなるなど体が不安定な状態のもの
 貧血や血圧異常、自律神経失調などの一過性脳循環障害

分類

- ・大脳皮質性めまい : 頻度は少ない。漠然とした不安定感やぐらぐらした感じ。てんかん発作の前兆として出る
- ・眼筋性めまい : 眼筋麻痺などで起こる。() を併発する
- ・小脳性めまい : 小脳自体ではなく、前庭神経小脳路や小脳核障害でめまいが起こる。
- ・耳性 (迷路性、前庭神経性) めまい : 代表的なものは () 病。難聴・耳鳴りを併発しやすい

検査

- ・聴力検査 ・前庭機能検査 (閉眼書字試験・ロンベルグ試験・片足立ちテスト) ・眼科検査
- ・X線検査 (内耳疾患を診るため) ・神経学検査 など

めまい 練習問題

例題) めまいを起こす疾患として誤っているのはどれか。

- 1 眼筋麻痺
- 2 脳循環障害
- 3 メニエール病
- 4 蝸牛神経麻痺

例題) ロンベルグテストにおける陽性所見はどれか。

- 1 片足で立った際にふらつく
- 2 開眼し両足を揃えて立つとふらつく
- 3 閉眼するとふらつきがおさまる
- 4 閉眼するとふらつきが強くなる

例題) 大脳皮質性めまいに分類されるものは次のうちどれか。

- 1 てんかん発作
- 2 小脳核障害
- 3 回転性のめまい
- 4 耳鳴りを併発するめまい

C. 難聴・耳鳴り

定義

難聴：会話音域の平均聴力損失が 20 dB以上 耳鳴り：外界からの音刺激が無いのに生ずる音感覚

分類と病態

伝音性難聴（耳垢塞栓、耳管炎、耳管狭窄、中耳炎、耳硬化症）

感音性難聴（聴神経腫瘍、小脳橋角部腫瘍、脳腫瘍、多発性硬化症、メニエール病、突発性難聴、老人性難聴）

非振動性耳鳴り：聴神経を含む全ての聴器部位に生じた機械的または化学的刺激が誘因。真正耳鳴りという音は持続的で聴覚障害が出ている付近の周波数が耳鳴りの主成分になる

振動性耳鳴り：筋肉血管など具体的雑音源をもつ機械的原因により生じる。間欠音、コマ音、拍動性耳鳴りなど筋性のものはポコポコ、パチ、ピチなどで断続的である。血管性のものは拍動音である。

※低音性耳鳴りは中耳疾患に多く、高音性耳鳴りは内耳性・中枢性に多い

検査

リンネテスト

音叉を用い、気導聴力と骨導聴力を比べ検査する。正常：（ < ）、伝音性（ < ）

ウェーバーテスト

音叉を用い、健側と患側どちらに音が大きく聞こえるかを検査する。伝音性（ < ）、感音性（ < ）

難聴・耳鳴り 練習問題

例題）伝音性難聴に分類される難聴はどれか。

- 1 突発性難聴
- 2 老人性難聴
- 3 耳硬化症による難聴
- 4 聴神経腫瘍による難聴

例題）伝音性難聴の記述はどれか。

- 1 リンネテストにおいて、気導聴力の低下が見られる
- 2 ウェーバーテストにおいて健側に大きく傾聴する。
- 3 骨導聴力の低下が見られる。
- 4 脳腫瘍による難聴は伝音性難聴の臨床像を呈する。

D. 動悸

定義

心臓部にドキドキした感じを覚える。心拍動の不快な自覚。

心収縮力の増加、心拍数の増加、心拍動の不規則などで生じる。

分類

- ・心拍異常（期外収縮・房室ブロック・心房細動の初期 など）
- ・心疾患によるもの（急性リウマチ性心疾患、弁膜症、肺性心、冠動脈疾患 など）
- ・その他（心臓神経症 など）
- ・運動 ・薬物 ・感染や発熱 ・末梢循環不全 ・内分泌疾患（ ） など

検査

- ・心臓聴診、脈拍触診などから心拍動の不規則性や雑音【※】を確認する。
- ・心電図や胸部 X 線撮影、超音波検査などで心疾患の有無を調べる。

※完全房室ブロック患者で、極端に心拍数が少なくなり痙攣やチアノーゼをきたす場合がある。（ ）

【※参考 弁膜疾患の雑音について】

僧帽弁狭窄症

僧帽弁閉鎖不全症

大動脈弁狭窄症

大動脈弁閉鎖不全症

動悸 練習問題

例題) 心拍数の上昇を起こす疾患でないものはどれか。

- 1 房室ブロック
- 2 褐色細胞腫
- 3 期外収縮
- 4 バセドウ病

例題) 心周期において駆出期に雑音が起こる疾患はどれか。

- 1 僧帽弁狭窄症
- 2 僧帽弁閉鎖不全症
- 3 大動脈弁狭窄症
- 4 大動脈弁閉鎖不全症

E.胸痛

定義

胸部に起こる疼痛。臓器や胸部組織が障害され、組織緊張あるいは化学的因子が痛覚神経を刺激する事で起こる
主な臓器は、心臓、肺、血管、食道などである

原因疾患

- ・虚血性心疾患（狭心症、心筋梗塞）

狭心症の場合は心電図で（ST ）が見られ、（ ）が著効する。

心筋梗塞の心電図は（ST ）、（ ）、（ ）30分以上激痛が続く。

- ・心膜炎や心タンポナーデ
- ・心臓神経症
- ・解離性大動脈瘤
- ・肺梗塞
- ・肺炎
- ・肺腫瘍
- ・肺結核
- ・気胸
- ・食道がん
- ・斜角筋症候群
- ・帯状疱疹
- ・肋間神経痛

検査

胸部の視診と打診を行い、胸部 X 線撮影と心電図検査を行う。

血性酵素検査：（ ）（ ）（ ）（ ）が有効。

胸痛 練習問題

例題）狭心症の際に見られる所見で誤っているのはどれか。

- 1 心電図において ST 下降が見られる
- 2 労作時に胸痛が見られる
- 3 心電図において異常 Q 波が見られる
- 4 ニトログリセリンが著効する

例題）心筋梗塞を疑う血性酵素検査項目はどれか。

- 1 LDL（低比重リポ蛋白）
- 2 CK（クレアチンキナーゼ）
- 3 HDL（高比重リポ蛋白）
- 4 ALP（アルカリフォスファターゼ）

例題）心筋梗塞における症状で正しいのはどれか。

- 1 疼痛は 30 分以上続き、消失することはない
- 2 ニトログリセリンの舌下投与が症状消失に効果がある
- 3 冠動脈の可逆的な閉塞症状である
- 4 心電図において T 波の陰転化が起こる

F.腹痛

定義

腹部領域に感ずる疼痛。大きく3つの機序（内臓痛）（腹膜痛）（関連痛）があり、混じりあった痛みが出る。

部位別原因疾患

- ・心窩部痛：食道疾患、胃・十二指腸潰瘍、肝・胆道疾患、（ ）初期）など
- ・右季肋部痛：肝・胆道疾患、十二指腸潰瘍、膵頭部疾患、右腎疾患、右尿管結石 など
- ・左季肋部痛：膵炎、腎疾患、左尿管結石、脾疾患 など
- ・回盲部痛：虫垂炎（ ）点、（ ）点など）、右尿管結石 など
- ・左腸骨窩部：大腸炎、便秘、左尿管結石、女性器疾患 など
- ・下腹部痛：大腸疾患、性器疾患、膀胱炎 など

覚えておきたい病態別疼痛

- ※虫垂炎…（ ）点、（ ）点など）初期には心窩部痛、嘔気嘔吐。次第に回盲部へ限局する
- ※急性膵炎…心窩部・左季肋部に激痛。膵液が膵臓を消化⇒（ ）。（尿中（ ））が高値
- ※胃・十二指腸潰瘍…（ ）時に痛みが出やすい。潰瘍部からの出血は、便が（ ）となる。
- ※イレウス…間欠的、持続的に疼痛。初めの頃は（ ）不隠）がある。後に腹部膨満が見られる。
- ※尿管結石症…肋骨脊柱角または腰部に激痛⇒腎疝痛。ショック症状を伴うことも。

腹痛 練習問題

例題）虫垂炎の際に見られる痛みや圧痛点で、誤っているのはどれか。

- 1 心窩部痛
- 2 右下腹部痛
- 3 右肩痛
- 4 ランツ点の圧痛

例題）誤っている記述はどれか。

- 1 麻痺性イレウスでは蠕動不隠が見られる
- 2 尿管結石症ではしばしば疝痛がみられる
- 3 急性膵炎では左季肋部に激痛が起こる
- 4 胃潰瘍の際は、便がタール便となる

例題）右季肋部痛になりにくい疾患はどれか。

- 1 十二指腸疾患
- 2 脾疾患
- 3 肝疾患
- 4 胆道疾患

G.不眠

定義

健全な睡眠が障害された状態をいう。何時間以下が不眠という規定は存在しない。

分類

- ・早朝覚醒：うつ病や老人性精神障害などで見られる。寝つきは良いが朝早く目覚める。
- ・入眠障害：神経症に多い。寝つきは悪く、悪夢を伴うと眠ることへの不安感が生じ悪循環となる。
- ・熟眠障害：夢が多く、熟眠できなかったと訴える
- ・途中覚醒：睡眠途中で覚醒する状態。

原因疾患

- ・環境変化や騒音、寒熱などによる精神緊張（大脳皮質の興奮）
- ・器質的脳疾患 ・精神疾患（精神分裂病やうつ病）

H.肥満とやせ

定義

肥満：標準体重+20%以上 やせ（るいそう）：標準体重-20%以上 と定義している。

肥満にはカロリー摂取過剰による単純性肥満、体質的素因による体質性肥満、疾患に基づく症候性肥満がある。

やせには精神的影響によるものや消化器疾患のために食事摂取が不十分であるもの、疾患によるものなどがある。

覚えておきたい内分泌障害による症候性肥満とやせ

★内分泌障害による肥満（クッシング症候群、甲状腺機能低下症、性腺機能低下症 など）

★内分泌障害によるやせ（アジソン病、甲状腺機能亢進症、シモンズ病、シーハン症候群）

※クッシング症候群：糖質コルチコイド分泌過剰状態。特徴的状态（ ）（ ）

※甲状腺機能低下症：（ 病）（ 病）に代表される。特徴的状态（ ）

※アジソン病：副腎皮質機能低下症。低血圧、低 Na 血症などが出る。特徴的状态（ ）

※甲状腺機能亢進症：（ 病）が代表的。メルセブルグ三徴候（ ）（ ）（ ）

※シモンズ病：脳下垂体腫瘍で下垂体機能低下を起こす。「下垂体性悪液質」

※シーハン症候群：分娩による大量出血で、下垂体前葉が 10 年程の経過とともに虚血性壊死を起こす病態。

不眠・肥満とやせ 練習問題

例題) うつ病に多い睡眠障害は次のうちどれか。

- 1 入眠障害
- 2 熟眠障害
- 3 早朝覚醒
- 4 途中覚醒

例題) 次のうち、るいそう（やせ）をきたす疾患はどれか。

- 1 甲状腺機能低下症
- 2 シモンズ病
- 3 性腺機能低下症
- 4 クッシング症候群

I.むくみ**定義**

むくみとは組織間液の増加した状態であり、限局性と全身性がある。

末梢血管因子（静脈圧上昇、膠質浸透圧低下 など）と、腎性因子（Na、水分貯留、アルドステロン過剰）

原因疾患分類

- ・心性浮腫：うっ血性心不全 ⇒ むくみは夕方、下肢に表れやすい
 - ・腎性浮腫：腎炎、ネフローゼ症候群
 - ・肝性浮腫：肝硬変
 - ・栄養性浮腫：栄養失調症
 - ・内分泌性浮腫：下垂体、副腎、甲状腺などの異常
- } ⇒ 低蛋白血症性浮腫＝（ ）の問題

J.多尿・頻尿**定義**

1 回および 1 日の尿量が多く、尿量 1 日 2000 ml を超えるものを多尿という。

頻尿とは尿量に関係なく、排尿回数の多い状態をいう。

心不全や内分泌障害などで体液量が増加した場合、糸球体濾過量が増加し、尿量増加が起こる。

原因

- ・生理的（水分の多飲、寒冷、精神的緊張）
- ・抗利尿ホルモン分泌異常：尿崩症など（ 欠乏）⇒低張尿。水分負荷試験でも尿量減少なし
- ・腎疾患：腎不全の多尿期など

むくみ 多尿・頻尿 練習問題

例題）浮腫のうち、体液の浸透圧変化に関連がないのはどれか。

- 1 栄養性浮腫
- 2 腎性浮腫
- 3 肝性浮腫
- 4 心臓性浮腫

例題）誤っている記述はどれか。

- 1 バゾプレシン欠乏症では、低比重尿を呈する
- 2 寒冷刺激は尿量を増加させる
- 3 多尿とは、一日当たりの尿量が 2 リットルを超える事である
- 4 尿崩症において、水分負荷試験を行うと尿量の減少が起こる

K.神経痛

定義

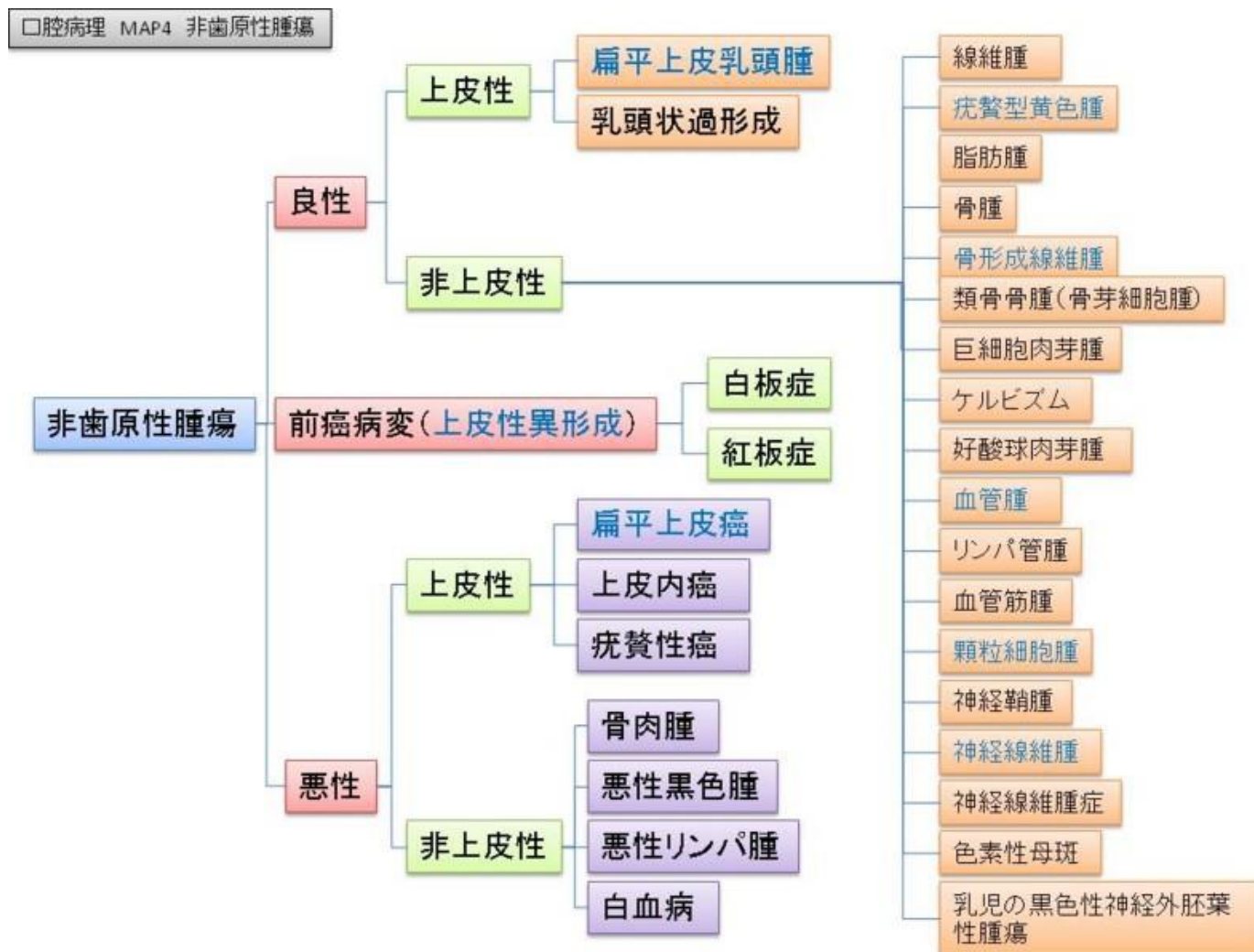
末梢神経の障害により起こる神経走行と一致した激烈で発作的な疼痛。

代表的な神経痛

- ・ 三叉神経痛：三叉神経の分布領域に局限した一側性の疼痛。痛みは強く、激烈で（ 性）。
- ・ 肋間神経痛：突発的に肋骨に沿う刺すような疼痛または灼熱痛。咳嗽や深呼吸により増強する。
- ・ 坐骨神経痛：神経走行に沿った激しい電撃痛。梨状筋部の絞扼や、神経根部の圧迫が原因。

IV その他（分類など）

A. 腫瘍の分類

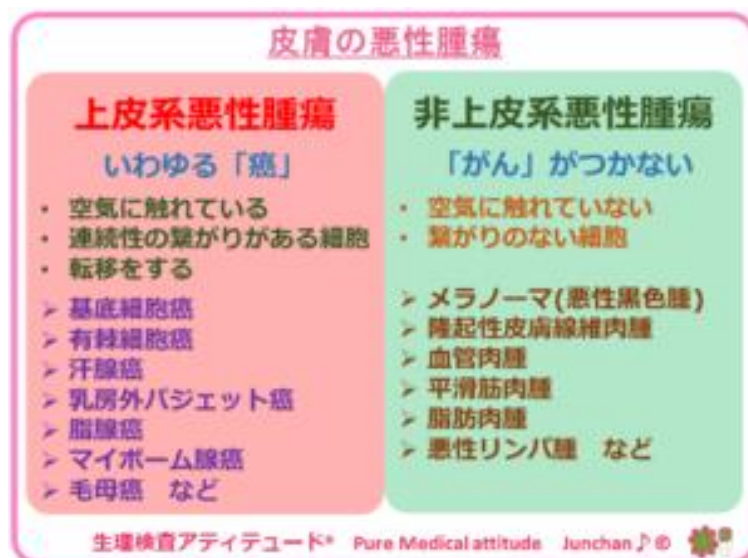


例題) 上皮性腫瘍はどれか。

- 1 乳頭腫
- 2 線維腫
- 3 膠芽腫
- 4 白血病

例題) 生命予後が良好なのはどれか。

- 1 線維腫
- 2 中皮腫
- 3 膠芽腫
- 4 白血病



B.貧血の分類

大球性貧血	悪性貧血	ビタミンB12欠乏による
	葉酸欠乏性貧血	葉酸欠乏による赤血球形成の低下
正球性貧血	溶血性貧血	赤血球の破壊亢進による
	再生不良性貧血	造血幹細胞異常による
	腎性貧血	エリスロポエチンの低下や骨髓低形成による。
小球性貧血	鉄欠乏性貧血	鉄の摂取不足、吸収障害、出血による喪失など

関連追記項目

胃の全摘出後などにも出現する
巨赤芽球性貧血 ハンター舌炎

間接ビリルビン高値、黄疸が見られる

汎血球減少が見られる

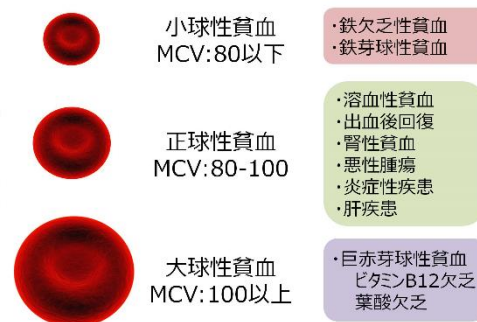
血中フェリチン低値 スプーン爪



ハンター舌炎

舌がしみるような痛み、舌が乾燥する、舌乳頭の萎縮、舌全体が赤く変色する

赤血球の大きさ



例題) 間接ビリルビンの増加する貧血はどれか。

- 1 溶血性貧血
- 2 巨赤芽球性貧血
- 3 鉄欠乏性貧血
- 4 再生不良性貧血

例題) 疾患と診察所見の組合せでよくみられるのはどれか。

- 1 鉄欠乏性貧血－歯肉出血
- 2 巨赤芽球性貧血－関節内出血
- 3 腎性貧血－血尿
- 4 再生不良性貧血－鼻出血

C. ショック症状の分類

分類	種類/原因		生理的反応
血液分布異常性 ショック	感染性ショック	敗血症など	・末梢血管拡張 ・循環血液量減少 ・末梢組織酸素需要増大
	アナフィラキシーショック	アレルギー反応	・血管容量増大 ・末梢血管拡張 ・循環血液量減少
	神経原性ショック	脊髄損傷など	・血管容量増大 ・末梢血管拡張 ・心機能障害
循環血液量減少性 ショック	出血性ショック	大量出血	・循環血液量減少
	体液喪失	脱水など	・後負荷増大
心原性ショック	心筋性	心筋梗塞など	・心機能障害 ・後負荷増大
	機械性	僧帽弁閉鎖不全など	
	不整脈	重症不整脈など	
心外閉塞・ 拘束性ショック	心タンポナーデ		・後負荷増大 ・心機能障害
	収縮性心膜炎		
	重症肺塞栓症		
	緊張性気胸		

	ショック症状
原因	急性循環不全 ↓ 循環促進と血圧上昇のため に脈拍を増加（100/分以上） させる
症状	「5P」 顔面蒼白(pale) 虚脱(prostration) 冷汗(perspiration) 脈拍触知不能(pulseless) 呼吸不全(pumonary) ＋ 頻脈 血圧低下

例題) 出血性ショックでみられるのはどれか。

- 1 脈拍数の減少
- 2 交感神経活性の低下
- 3 尿量の減少
- 4 呼吸数の減少

例題) ショックの分類と原因の組合せで正しいのはどれか。

- 1 血液量減少性ショック——熱傷
- 2 心原性ショック——緊張性気胸
- 3 血液分布異常性ショック——心筋梗塞
- 4 閉塞性ショック——消化管出血

D.がんマーカーのイロイロ

以下は必ず覚えましょう。

- ・ CEA
- ・ AFP
- ・ CA19-9
- ・ PSA

例題) 癌と腫瘍マーカーの組合せで最も適切なものはどれか。

- 1 肝細胞癌—HCG
- 2 胃 癌—CEA
- 3 食道癌—CA19-9
- 4 肺癌—PSA

	CEA	AFP	CA19-9	CA125	CA15-3	PSA
食道癌 	○					
胃癌 	○		○			
肺癌 	○					
肝臓癌 	○	○				
胆嚢・胆管癌 	○		○			
膵臓癌 	○		○			
大腸癌 	○		○			
乳癌 	○				○	
子宮癌 	○					
卵巣癌 	○			○		
前立腺癌 						○

E.救命処置について

一次救命

一次救命処置 "AHA-BLS" (Basic Life Support) は、正しい知識と適切な処置の仕方さえ知っていれば誰でも行うことができる処置。

- A Air way (気道確保)
- B Breathing (呼吸管理)
- C Circulate (循環管理)

二次救命

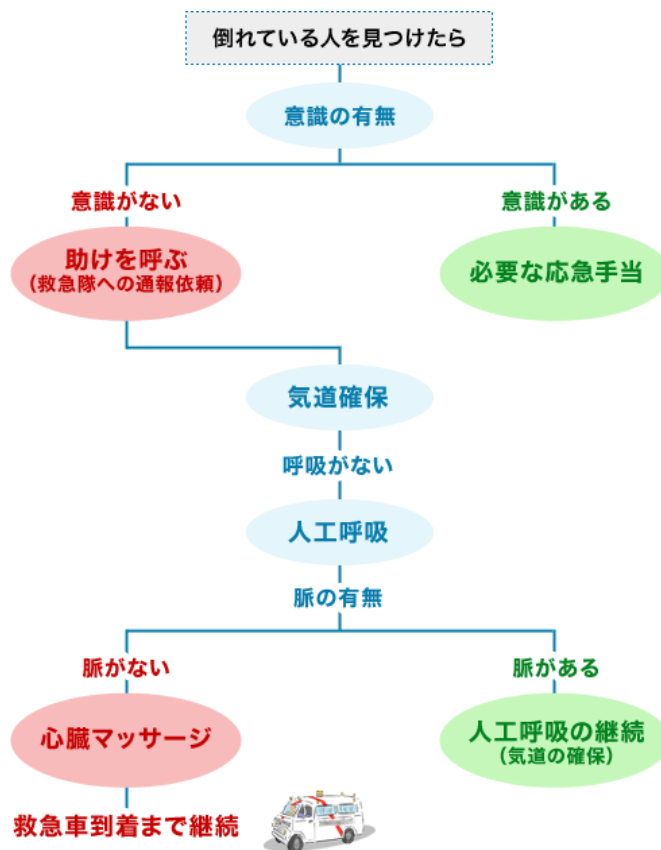
二次救命処置 "AHA-ACLS" (Advanced Cardiovascular Life Support) は蘇生現場や病院等医療機関において医師、看護師、救急救命士などが行う救命処置のこと

気管挿管

高濃度酸素投与

電氣的除細動

静脈路確保と薬物投与を主体とした手技



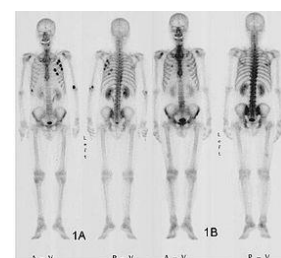
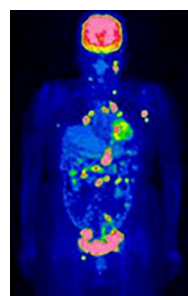
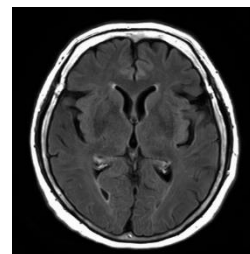
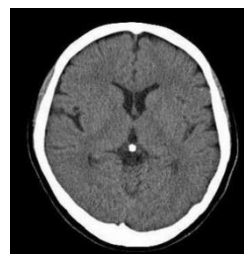
F.画像検査

検査系 まとめ

検査名	概要	検査の特性	対応する主な疾患
心電図検査	心拍動に伴う電位差を曲線にあらわしたもの	心臓内の電流を身体表面の導子から増幅して記録する	多くの循環器疾患
筋電図検査	筋肉が興奮して収縮する際に起こる電位を検査する	電極を筋肉内に刺入する	神経-筋疾患
脳波検査	頭皮上に現れる微弱電位を2つの電極の電位差として記録する	覚醒や睡眠の評価もできる	意識障害、てんかん、脳外傷 脳腫瘍、脳死判定など
呼吸機能検査	肺気量をみるスパイロメーター 動脈血ガス分析などがある	空気の入出、血流、ガス交換 の3つが検査として重要	多くの肺疾患
基礎代謝検査	空腹安静時の消費カロリーを計算する	空腹安静時の酸素消費量、二酸化炭素量 から呼吸比を求める	代謝系疾患、甲状腺疾患など
超音波検査	生体に超音波を投射し、その反射波を検出して検査する方法	パルス反射法やドプラー法などの技術がある	内臓の種々の疾患 胆石や膀胱、子宮など幅広い
X線検査	放射性物質であるX線を投射し、通過したX線の蛍光像を撮影する	単純撮影と造影撮影がある	臓器系の診察に特に有効 造影は消化管や尿路系、脈管系など
CT検査	X線を曝射しながらX線管球とX線検出器を平行移動と回転を行い、目的とした断面を解析する方法	軟部組織相互間の差異を撮影 横断面の画像が得られる	脳疾患など
MRI検査	体内にある原子核の分布や状態をコンピュータシステムで断面像の再構築を行う方法	磁場と高周波を用いる 横断面や矢状面の画像が得られる ペースメーカー患者などは禁忌	脳疾患 腹部臓器 など
サーモグラフィー	体表温度を測定する検査	体表面から放射される遠赤外線領域の波長を測定する	血流の判定 代謝機能の判定 など
シンチグラム	放射性同位元素（ラジオアイソトープ）でラベル化した化合物を静脈注射し、一定時間後に臓器への取り込みを放射活性で検出する方法	テクネシウムやガリウムなどを用いる	
PET検査	炭素、窒素、酸素、フッ素などの様遺伝子を静脈注射し、臓器に取り込まれた際に放出されるポジトロンを検出する方法	血流やブドウ糖代謝を反映する	脳機能障害 虚血性心疾患 悪性腫瘍
内視鏡検査	体外から内視鏡を挿入し局所病変を観察する検査法	内視鏡を用いた手術なども可能	食道、胃、十二指腸、大腸 膀胱、子宮、気管支などを観察

例題) 放射線被曝を伴う検査はどれか。

- 1 筋電図検査
- 2 PET 検査
- 3 MRI 検査
- 4 サーモグラフィー



例題) 排尿障害の検査で初めに行うのはどれか。

- 1 神経伝道検査
- 2 膀胱内視鏡検査
- 3 腹部超音波検査
- 4 腹部エックス線検査

G.内分泌疾患のまとめ（臨床各論分野？）

内分泌疾患と特徴的症狀 まとめ

※臨床医学各論教科書より抜粋				
疾患名	異常分泌器官	ホルモン名	過剰 欠乏	特徴的症狀
クッシング病	下垂体前葉	ACTH	過剰	ACTH増加＝色素沈着 高血糖、高血圧、肥満、赤色皮膚線状 トルコ鞍部の風船状拡大像など
巨人症	下垂体前葉	成長ホルモン	過剰	視野障害＝両耳性半盲 骨端線閉口前から発生 体重増加、四肢肥大、発汗亢進 眼窩上縁突出、下顎突出、高身長 トルコ鞍部の風船状拡大像など
先端巨大症	下垂体前葉	成長ホルモン	過剰	視野障害＝両耳性半盲 骨端線閉口後から発生 体重増加、四肢肥大、発汗亢進 眼窩上縁突出、下顎突出、高身長 トルコ鞍部の風船状拡大像など
低身長症	下垂体前葉	成長ホルモン	欠乏	身体の均衡は取れている低身長 血中GH低下 空虚トルコ鞍像 など
尿崩症	下垂体後葉	バゾプレッシン	欠乏	多飲・多尿・口渇・睡眠障害など 水負荷試験でも尿量の低下が見られない 低張尿で高Na血症と高浸透圧血症が見られる
バセドウ病	甲状腺	T3・T4	過剰	眼球突出・甲状腺腫・頻脈（メルゼブルグ3徴候） 手指振戦、体重減少、発汗過多、精神異常 20代女性に多い
橋本病	甲状腺	T3・T4	欠乏	甲状腺のびまん性炎症に起因した機能低下 寒さに弱い、発汗減少、嚔声、倦怠感 体重増加、低体温、食欲減退、粘液水腫 TSH高値、高コレステロール、高中性脂肪 30～50代の女性に多い（10人に1人）
クレチン病	甲状腺	T3・T4	欠乏	先天性の甲状腺機能低下症 寒さに弱い、発汗減少、嚔声、倦怠感 体重増加、低体温、食欲減退、粘液水腫 TSH高値、高コレステロール、高中性脂肪
クッシング症候群	副腎皮質	コルチゾール	過剰	高血糖、高血圧、肥満、赤色皮膚線状 骨粗鬆症、筋力低下、精神異常など 免疫力が低下する 副腎腫瘍が見られる
原発性アルドステロン症	副腎皮質	アルドステロン	過剰	高ナトリウム血症、高血圧、多尿 低カリウム血症、アルカローシス、四肢麻痺 筋力低下、テタニー など 副腎腫瘍が見られる
アジソン病	副腎皮質	コルチゾール アルドステロン アンドロゲン	欠乏	ACTH増加＝色素沈着 低血糖、低血圧、体重減少 低ナトリウム血症、高カリウム血症 腋毛・恥毛脱落など
褐色細胞腫	副腎髄質	アドレナリン ノルアドレナリン	過剰	高血圧、頭痛、発汗、高血糖、頻脈 顔面蒼白、四肢冷感、手指振戦、やせ 悪心嘔吐、腹痛 副腎腫瘍などが見られる